

資料

○第3次新潟県食育推進計画評価指標一覧

○新潟県食育推進協議会 委員名簿

第3次新潟県食育指標評議会推進計画一覧

題點課

1 生涯にわたる健康づくり

各世代や場面に応じた食育の推進

3. 新湯の食の理解と実践

評估指標項目

課題	評価指標項目	値の推移				目標の設定と目標値の考え方				出典	
		H16 H20	H23 H27	R1 R6	R4 R4	参考値R4 (第2次計画 長期目標値)	目標値 (第2次計画 目標値)				
1,2,3	教育に関心を持っている県民の割合(成人)	(H18) 59.8%	55.9%	57.2%	56.6%	56.6%	90%	90%	国第3次体育推進基本計画の目標値に合わせて設定	県民健康・栄養実態調査	
1,2	朝食を欠食する県民の割合	小学6年生 15～19歳 20～30歳代	— — —	— — —	— — —	3.3% 2.1% 19.8%	0% 0% 15%	— — —	国第3次体育推進基本計画の目標値に合わせて設定	全国学力・学習状況調査質問紙調査	
1,2	ふだんの食事で主食・白菜を組み合っている人の割合(成人)	主食・白菜・副菜を組み合った食事が1日2回以上の人がほぼ毎日の人の割合(成年)	— —	— —	— —	R2把握 (H24) 62.1%	增加させる 46.0% 44.6%	— 80% 80%	主食・白菜・副菜を組み合わせた食事をする人を増加させるため、意識の向上を評価指標とする。現状値から増加させることを目標値として設定	県民健康・栄養実態調査	
1,2	主食・白菜・副菜を組み合った食事が1日2回以上の人がほぼ毎日の人の割合(20～30歳代)	主食・白菜・副菜を組み合った食事が1日2回以上の人がほぼ毎日の人の割合(20～30歳代)	— —	— —	— —	34.8% (H24) 64.8%	32.2% 63.8% 61.7%	55% 80% 80%	第2次県体育推進計画の目標値を継続して設定 ※健康日本21(第2次)、健康にいがた21(第3次)の目標値も同様	県民健康・栄養実態調査	
1,2	ふだんの食事における減塩の取組状況(成人)	食塩摂取量(成年)	11.6g	11.5g	10.8g	10.2g	10.3g	8g未満 9g未満	主食・白菜・副菜を組み合わせた食事に取り組み合わせた食事を摂る人(成人)と同様の目標値を設定	県民健康・栄養実態調査	
1,2	栄養バランスに配慮した食生活を実践する県民の割合	野菜摂取量(成年)	316.8g	344.2g	323.3g	344.6g	325.2g	350g	52% 80% 80%	第2次県体育推進計画の目標値に合わせて設定 ※健康にいがた21(第3次)の目標値も同様	県民健康・栄養実態調査
1	適正体重を維持している県民の割合	果物摂取量100g未満の人の割合(成人)	肥満傾向にある子どもの割合(小学5年生)	— — —	— — —	56.9% 10.8% 8.0%	61.5% 7.4% 9.4%	39% 11.3% 10.4%	第2次計画策定時、基準値となるH23の県民健康・栄養実態調査の年齢階級別果物摂取量が最も多い、60歳代女性の数値を目標値として設定	学校保健統計調査	
1	適正体重を維持している県民の割合	20～30歳代女性やせの人の割合	—	—	—	—	22.5%	20%	健康日本21(第2次)の20歳代女性のやせの目標を参考に設定	県民健康・栄養実態調査	

重点課題	評価指標項目	値の推移				目標値	参考値R4(第2次計画目標値)	目標の設定と目標値の考え方	出典
		H16	H20	H23	H27				
1 適正体重を維持している県民の割合	20～60歳代男性肥満者の割合	25.3%	27.0%	30.2%	24.9%	31.1%	24%	24%	第2次県食育推進計画の目標値を継続。※健康日本21(第2次)の考え方では、加齢により肥満者の割合が増加するのではなく、10年後も現在の肥満者の割合が維持されることを目指としている。H28県食育推進計画改定時、20～60歳代男性肥満者の目標値は、引き続き現状値を下回らせることが目標として設定
	40～60歳代女性肥満者の割合	23.4%	22.4%	23.9%	20.4%	25.2%	18%	18%	
	低栄養傾向(BMI20以下)の割合 (65歳以上)の割合	—	—	14.9%	19.0%	16.8%	18%	16%	
1 むし歯のない3歳児の割合		71.8%	77.2%	82.8%	87.5%	90.4%	95%	90%	乳歯むし歯の評価に最も用いられる指標であり、全県の評価、国との比較のために設定
1 むし歯のない12歳児の割合		58.3%	65.6%	71.2%	80.1%	84.4%	90%	81%	保育園～小学校までの永久歯むし歯予防の取組の成果を評価する指標として設定。これまでの増加傾向を踏まえ目標値を設定
1 8020達成者の割合		26.6%	34.4%	29.3%	39.1%	36.6%	40%	40%	8020運動の評価指標。第2次県食育推進計画の目標値を継続
1 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合(15歳以上)		(8.3%)	(13.0%)	(12.8%)	(19.5%)	25.8%	30%	—	県民の歯・口腔の健康に上意習慣の定着を評価する指標
1 一口30回噛んで食べるよう意識している人の割合(15歳以上)		—	18.1%	19.9%	20.5%	19.6%	30%	30%	これまでの推移を踏まえ目標値を設定
2 けんこうtime推進店※1登録店舗数		—	—	—	—	127店舗	增加させる	—	第2次県食育推進計画の目標値を継続
2,3 活動した食育ボランティアの人数(延べ)		—	—	—	—	88人	110人	—	食環境づくりを推進するため協働するスーパーの登録件数を目標に設定。
3 学校給食における県産農林水産物を使用する割合(金額ベース)※2		—	—	—	—	66.1% [全国9位] [全国7位]	全国7位以内を目指す	—	過去5年間の活動人數の平均値(71人)×1.5として設定
3 学校給食における国産農林水産物を使用する割合(金額ベース)※2		—	—	—	—	91.6% [全国7位]	全国5位以内を目指す	—	文部科学省の調査に合わせて金額ベースで把握し、現状を踏まえて、全国上位を目標とする。
3 食品ロス削減のために何とかの行動をしている県民の割合		—	—	—	—	R3把握	80%	—	文部科学省の調査に合わせて金額ベースで把握し、現状を踏まえて、全国上位を目標とする。
3 災害時に対応できる食料品を備蓄している県民の割合		—	—	—	(H25)	—	—	—	国の第3次食育推進基本計画の目標値に合わせて設定
3		—	—	28.5%	30.4%	33.0%	36%	H25より5%増	家庭内備蓄を促進するため、これまでの実績を踏まえ3ポイント増加させることを目標とする。

※1 けんこうtime推進店、新潟県独自の基準を満たしたそぞう菜を販売し、望ましい食生活について普及啓発を行う店として、県が登録したスーパーマーケット等

※2 6月と11月の各1週間を調査期間としています。また、目標は通年の目標値です。

令和2年度新潟県食育推進協議会 委員名簿

所 属	役 職	氏 名
北信越地区スーパー・マーケット協会連合会	事務局長	秋本敏雄
新潟県歯科医師会	理事	有松美紀子
新潟大学農学部	助教	伊藤亮司
公益社団法人新潟県栄養士会	会長	折居千恵子
新潟県医師会	上村医院院長	上村伯人
一般社団法人新潟県調理師会	会長	佐藤衛
新潟県保育士会	副会長	瀧澤貴子
新潟県小学校長会	理事	田村篤
新潟県食生活改善推進委員協議会	会長	◎外山迪子
新潟県農村地域生活アドバイザー連絡会	会長	古川とみ
NPO法人新潟県消費者協会	副会長	本多満喜子
新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科	教授	村山伸子
新潟県小中学校PTA連合会	副会長	山口裕子
新潟県農業協同組合中央会	常務理事	横尾良輝

◎会長

オブザーバー

所 属	役 職	氏 名
農林水産省北陸農政局 消費・安全部消費生活課	課長	受川博文

(敬称略・五十音順)

はじめよう、
けんこう
time



健康づくり県民運動「ヘルスプロモーションプロジェクト」

第3次新潟県食育推進計画

新潟県福祉保健部 健康対策課
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
TEL 025-280-5198 FAX 025-285-8757
ホームページアドレス <https://www.kenko-niigata.com/>